

## 福祉サービス第三者評価結果報告書（公表用）

### 【受審事業所情報】

事業所名称	アスク久宝寺駅前保育園
運営法人名称	株式会社 日本保育サービス
福祉サービスの種別	保育所
代表者氏名	安藤 純一 園長
定員（利用人数）	90 名
事業所所在地	〒 581-0069 八尾市龍華町1-4-2 メガシティータワーズ 2F
電話番号	072 - 924 - 3060
FAX番号	072 - 924 - 3006
ホームページアドレス	<a href="http://www.nihonhoiku.co.jp/facilities/hoikuen/kyuhouji_e_kimae/">http://www.nihonhoiku.co.jp/facilities/hoikuen/kyuhouji_e_kimae/</a>
電子メールアドレス	<a href="mailto:gsp31925@nifty.com">gsp31925@nifty.com</a>

### 【評価機関情報】

第三者評価機関名	株式会社 第三者評価
大阪府認証番号	270025
評価実施期間	平成23年10月5日～平成24年4月16日
評価決定年月日	平成24年4月16日
評価調査者（役割）	0501C022（運営管理委員） 0701C008（専門職委員） 0701C004（運営管理・専門職委員） 0501C095（専門職委員）

### 【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	有
---------------------	---

## 第三者評価結果の概要

### 評価機関総合コメント

#### 機 会 と 期 待

Welcome to Osaka ! Attention Messrs ASC Nursery School ! !

Hopefully you could achieve and maintain higher quality level,

at same time we would like to desire that the criterion of selection should be decided being based on not a status as corporate body, but the quality level.

東京・神奈川県では随分以前より、質の良い保育サービスを展開する事業者には、経営主体は問わない事が当たり前になっていましたが、やっと大阪府の八尾市が平成23年4月に待機児童解消を目的に、“子ども・保護者の強いニーズ”を受け、民間の株式会社にも門戸を開放しました。関東地区を中心に104の保育園を運営する(株)日本保育サービスが、運営1年目の節目に早くも、現状の保育サービスレベルを第三者の目で点検するため、評価を受審し、優秀な成績を収めました。また、指摘事項も何件かありますが、それらを直ぐに改善しようという意志も確認できております。

大阪は、有数の待機児童の多い地域とされています。子ども・保護者から考えますと、経営主体はどこでも構いません。KEYは、保育サービスの質の高さ・透明性の確保・プロフェッショナルとして説明責任を果たす事などです。大阪府内の自治体が、関東地区同様、質の高いサービスを展開される保育園に対しさらに門戸を開放し、待機児童0を目標に舵を切られる事を切望致します。

### 特に評価の高い点

① 大阪府で初めて認可された株式会社による認可保育園(開園：23年4月 設立1年目)が、府内の保育園に先駆け、最新の“平成23年度版の”新保育指針に沿った保育園評価基準”に真っ先にチャレンジされた点。

② 園長は、今回の評価を実施する前に、きつめの評価を要請されました。その理由は、早い段階で、目標とすべきレベルを明らかにしたいというお話でした。また、訪問調査の際、対応した園長・保育士は全員、創業者が掲げる“保育士は隠し事をしない”を実践し、飾らずありのままの保育園の現状の姿を見せようと対応された、その真摯さに感銘を受けました。

【達成度レベル説明 a：目標とする高いレベル b：一般的なレベル c：改善が必要なレベル とし、きつめに評価を実施】

③ 保護者アンケートの回収率が100%です。保護者の高い期待の表れです。

## 改善を求められる点

### ① マニュアルの周知徹底、及び その教育方法をご検討下さい

法人全体で良い『マニュアル』を作成しています。事務・管理部門から実際のサービスに至るまで分かりやすい内容になっています。マニュアルに記載されている内容すべてを記憶しておく必要はないのですが、必要なときに確認したい事が『マニュアル』の「どの部分に書いてあるのか」、頭に入れておいてください。常日頃から、記憶に頼らず、ノウハウの結集であるマニュアルにて“きっちり基本を確認”出来る方が、咄嗟の時に、応用の利くサービスを実施できる方かと思えます。設立1年で、現場は極めて多忙ですが、そんな状況にあっても、マニュアルから基本を学び取れる教育方法を工夫してください。

### ② 取り組むべき課題を一覧化した改善実施計画書が作成されていません。

日々こまめな改善は実施されていますが、取り組むべき課題を明確にし、一覧化した改善実施計画書（見える化・責任者の明確化・実施期限）が作成されていません。課題に対し、組織的・体系的なP（Plan・計画策定）→D（Do・実行）→C（Check・評価）→A（Act・見直し）サイクルを実施し、改善活動でレベルアップに取り組んで下さい。

③ 未然防止活動の決め手となる保育士・子どものヒヤリとしたハットしたを記載する「インシデント・トラブルレポート」が、未記載となっています。

### ④ 地域との連携・交流の取り組みを工夫し実践して下さい。

以上

## 第三者評価に対する事業者のコメント

今回、第三者評価を受診し、「やっているつもり」「できているつもり」だった盲点を発見することができ、あらためて自分たちの取り組みを見直すきっかけになりました。今年指摘を受けた項目を、来年は改善できるよう、職員一同努めていきます。そして、これからも子どもたち、保護者のみなさんと一緒になって思い出に残る保育園を作り上げていきたいと思えます。

## 評価細目の第三者評価結果

## 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

判断基準項目	評価結果
I-1 理念・基本方針	
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	
I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a
I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b
評価機関コメント	
<p>理念や基本方針は、HP、「パンフレット」、「入園のしおり」、「重要事項説明書」、「業務マニュアル」等に明文化しており、コンパクトで分かりやすく記載されていて、目指す方向も、園長の説明から明快に伝わってきました。周知についても、職員や保護者までは十分できています。ただ反面、新園ということもあり、地域住民や関係機関への配布はこれからという段階にあります。今後、地域住民に向けて、連携の採れる機関等を模索しながら、進めていきたいと考えておられるので、この点に力を入れていけば、3年後くらいには、地域に周知される保育園になると思われます。</p> <p>また、訪問調査当日、ランダムサンプリングで選出し、数名の方に理念や方針を説明してもらい、主旨の理解度を確認しました。</p>	

判断基準項目	評価結果
I-2 事業計画の策定	
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	b
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	b
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	b
I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	b
I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	b
評価機関コメント	
<p>「中長期計画」、「平成23年度事業計画」の策定は整備されています。ただ反面、新園でもあり、中長期の計画に策定されている内容は、今後、変更・修正の可能性もあるとのことであった。地域の状況把握は、新園でもあり、地域の年齢別子ども数や待機児童の把握は充分ではなかった。増改築計画も、地域の状況を把握でき次第、中長期計画に載せていく方向と、園長の説明でした。</p> <p>地域、保護者の方たちへの周知方法も、さらに工夫されては如何でしょうか。</p> <p>【 保育サービス面で、優れている、特徴がある内容 】</p> <p>(1) 国産中心の安心・安全な食材を使った、毎日手作りの食事・おやつを提供  (2) 英語、体操、リトミック、クッキング保育など、子どもの「楽しむ心」や「学ぶ楽しさ」を育むプログラムの実施  (3) 午睡用の布団の貸出し、エプロン・シーツの洗濯など、保護者のニーズに合ったサービスの提供</p>	

判 断 基 準 項 目		評価結果
I-3 管理者の責任とリーダーシップ		
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a
評価機関コメント		
園長の役割及びリーダーシップは、「マニュアル」にも記載されており、極めて強力な指導力を発揮し、主任を中心にKEYとなる人材育成の為に、任せて育てようとしています。遵守すべき法令についての勉強会は、『法令関係資料（平成19年）』に基づいて実施されています。また、質の向上、経営・業務の効率化、改善にも指導力を発揮しています。		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

判断基準項目		評価結果
Ⅱ-1 経営状況の把握		
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	b
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	対象外
評価機関コメント		
<p>事業経営を的確に把握する仕組みとして、自治体の主催する事業者向け説明会や講習会への参加をおこなっている。本園の園長は、エリアマネージャーの経験もあり、福祉サービスのニーズ把握については問題意識も高い。ただ反面、把握された情報やデータが、個々の園の中長期計画や事業計画にどのように反映されているかについての詳細を園長から聞く事が出来ませんでした。</p> <p>保育園は、設立後1年経過しておらず、決算時期（3月末）をまだ迎えていない為、Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査の実施状況については、対象外としました。</p> <p>園の法人の親会社は、東証1部上場の為、監査法人による監査は受けています。次年度以降、弊社にて受審の機会がある場合、園の決算書等に対し、外部の会計の専門家による、決算内容・事業展開を踏まえた経営アドバイスが書面で確認できるか否かを評価のポイントと致します。</p>		

判断基準項目		評価結果
Ⅱ-2 人材の確保・養成		
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
Ⅱ-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	b
Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅱ-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	a
評価機関コメント		
<p>人事担当者との面談を行い、年3回の考課査定を実施しています。「出勤簿」にて勤怠データを収集・分析し、『衛生委員会』があり、メンタルヘルスチェックを実施しています。親会社のJPホールディングスが、東証1部に上場しており、その持株会（職員への優遇策）もあり、福利厚生は充実しています。職員への教育・研修は個別には活発に実施されていますが、開園1年目で極めて多忙だったこともあり、「教育・研修計画」に沿った組織的・体系的・計画的な教育は実施されていませんでした。後進の育成については「実習生受け入れガイドライン」に沿って受け入れる体制は整っており、早ければ開園2年目の次年度より実施予定です。</p>		

判断基準項目		評価結果
II-3 安全管理		
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b
評価機関コメント		
<p>安全委員会を設置し、『業務マニュアル』に沿って「年間消防訓練計画」を作成し、避難訓練、消火訓練、通報訓練を毎月実施しています。災害時に保育所が地域の避難所になることも想定され、また、地域の方に大規模災害等で、子どもを助けて頂く事もありますので、日頃からの地域との連携もお願いします。</p> <p>法人の京都府向日市にある『アスク向日保育園』と「相互安全チェック・チェックリスト」に基づき、定期的に施設内の危険箇所の確認を”他人の目”を上手く使い安全管理を実施し、他の保育園では見られない活動を実施しています。</p> <p>子どもがケガをした場合には、『業務マニュアル』に従い、「アクシデント・トラブルレポート（けが）」は数枚作成していましたが、未然防止活動の決め手となる保育士・子どものヒヤリとしたハットしたを記載する「インシデント・トラブルレポート」は、未記載となっています。重大災害の発生確率を示すハインリッヒの法則では、【大きな事故：小さな事故：ヒヤリとした経験：1：29：270】となっていますので、「アクシデント・トラブルレポート」の枚数を越える「インシデント・トラブルレポート」の記載 及び ”危険箇所”を無くす・変えるを、三徹（徹頭・徹尾・徹底）される事を期待します。</p>		

判断基準項目		評価結果
II-4 地域との交流と連携		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	b
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	b
II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	b
II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	b
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	b
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	b
評価機関コメント		
<p>新園で、地域との交流はこれからという段階にあります。園長先生も積極的に進めたいご意向のようです。</p> <p>ボランティアの受け入れについては、マニュアルも整備され、説明や研修も実施し、中学生の体験等も実施しておられ、今後の発展がおおいに期待されます。</p> <p>また、駅前という好立地をいかし、立ち寄りやすいように、園の掲示や広報に工夫をされることで地域とのつながりが深まっていくと考えられます。保護者より要望があった一時保育については、開園1年目で早くも開始された対応力・機動力の良さにも特筆すべきものがあります。</p> <p>【 子育て支援 : 試食会、絵本読み聞かせ、ベビーマッサージ 等 】                  【 一時保育 : 受け入れ体制が整い、24年3月より開始されています 実績1人】</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a
評価機関コメント		
<p>利用者を尊重、及び プライバシー保護（羞恥心に配慮）の姿勢は、同社HP、入園のしおり、重要事項説明書、業務マニュアル、及び 創業者の著書「日本の保育を変える！」にも強い熱意が記載されており、それを実践する保育士の子ども・保護者に対する思いが十分に伝わってきます。保護者面談、各種アンケートの実施、玄関の意見箱・面談室の設置等、利用者満足の向上に努めており、苦情解決の仕組みは、『社会福祉事業の経営者による福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針（厚生省児童家庭局長 平成12年6月7日）』に沿った形で作成され、掲示されています。</p>		

2012年1月実施の保護者アンケートは、園児91人 総家庭数78家族、全ての家庭にアンケート用紙を配布し、全ての家庭より回収しました。（回収率 100%） 回収率の高さは、保護者の信頼・高い期待度を表したものと思われます。【内容の一部、別紙参照】



判断基準項目		評価結果
Ⅲ-2 サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	b
Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	c
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a
評価機関コメント		
<p>保育士各人の自己評価は実施されていますが、保育園の自己評価は実施されていませんでした。また、日々こまめな改善は実施されていますが、取り組むべき課題を明確にし、一覧化した改善実施計画書（見える化・責任者の明確化・実施期限）が作成されていません。組織的・計画的・継続的・体系的なPDCA改善活動にする為に、ぜひ、取り組んでください。潜在能力が高い保育園ですので、得るものは多いと思います。</p> <p>☆ 2012年1月実施の保護者アンケート結果からも、他の設問項目に比べ「はい」以外の回答が多い項目でした。</p> <p>項目⑤ 保護者からの苦情や意見に対して、園から「懇談会」や「園だより」などを通じて説明がありましたか？</p> <p>回答結果（母数78）→はい40（51%）いいえ15（19%）その他9（12%）無回答14（18%）</p>		
判断基準項目		評価結果
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
評価機関コメント		
<p>保護者がサービス選択時の情報は、HP、パンフレット、「入園のしおり」、「重要事項説明書」に記載されており、入園前説明会や見学を実施し行っています。また、保護者より要望の出ている【一時預かり】を、先週3月中旬より開始されています。JR久宝寺駅に直結した保育園ですので、子ども・保護者にとって有難いサービスと思います。また、「児童保育要録」により、継続性に配慮した対応を実施しています。</p>		

判断基準項目		評価結果
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定		
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a
評価機関コメント		
<p>『業務マニュアル』、『久宝寺駅前保育マニュアル』、及び子どもの身体状況、生活状況等を記載した「児童票」をもとに、「保育課程」、「年間指導計画案」、「月案」が作成され、アセスメント（子どもや保護者の身体状況や生活状況等を把握するとともに、どのような保育や支援実施上のニーズがあるかを明らかにする）を実施しています。また、職員会議で話し合い、その成果の検証を行い、「連絡ノート」を活用したり、日々の送迎時の会話、面談にて保護者に伝えています。</p>		

## 児童福祉分野【保育所】のサービス内容基準(付加基準)

判断基準項目		評価結果
A-1 保育所保育の基本		
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-①	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	b
A-1-(1)-②	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-③	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-④	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-⑤	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されている。	b
A-1-(2) 環境を通して行う保育		
A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-②	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a
A-1-(2)-③	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-④	子どもが主体的に身近な自然や社会とかわれるような人的・物的環境が整備されている。	b
A-1-(2)-⑤	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(3) 職員の資質向上		
A-1-(3)-①	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	b
評価機関コメント		
<p>管理者だけでなく職員全員が『保育指針』やその他保育に関する法令等の勉強会に参加しているの で、『保育指針』の内容を十分に取入れた「保育過程」が作成されていました。しかし、「定期的 の見直し時期」が明文化されていないので、必ず定期的に内容を見直し、内容をより良いものにして ください。</p> <p>マンション内にある保育園なので2階のバルコニーが主な運動場所で、そこではフラフープや縄跳び などを使って体を動かしています。</p> <p>園庭の広さに制限があるため積極的に園外に散歩に出かけています。週に2～3回、1時間ほど近 くの公園でたっぷり遊んでいます。頻繁にお散歩にでかけた効果があり今では1.5kmも園から離れた 久宝寺緑地まで難なく出かけられるようになりました。</p> <p>子どもたちは音楽を聴いたり楽器を演奏したりすることで感性を磨き表現能力を身につけていきま す。子どもたちは既成の楽器だけでなく、日常生活の中で聞こえる音を楽しんだり手作りのマラカス で遊んだりしています。楽器は子どもの発達に合わせてマラカス、タンバリンなどから始めて年長さ んではピアノを使った演奏活動をしています。</p> <p>小学校との連携に関しては当該園が開設1年目ということもあり、まだ地域や小学校との連携に取 り組めていないのが現状です。受審日時点で次年度の行事計画を策定中でもあり、次年度の計画に小学 校との交流や連携の機会を盛り込んでください。</p> <p>また同じ理由で子どもが主体的に身近な自然や社会とかわれるような取り組みも十分に実施でき ていません。この点に関しては職員間で改善するべきと共有されているので、来年度以降取り組む予 定です。</p> <p>職員の資質向上に関しては自己評価は実施されていますが、定期的には実施されていません。質の 向上を恒常的に実践するため、実施時期、頻度を明確にしてください。</p> <p>【 改善実施事例 : 10分毎の午睡チェック実施の頻度を5分毎に変更 】</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
A-2 子どもの生活と発達		
A-2-(1) 生活と発達の連続性		
A-2-(1)-①	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a
A-2-(1)-②	障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-2-(1)-③	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	b
A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
A-2-(2)-①	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	b
A-2-(2)-②	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A-2-(2)-③	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a
A-2-(2)-④	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	b
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
A-2-(3)-①	アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
A-2-(3)-②	調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a
評価機関コメント		
<p>長時間の保育で多数の職員がかかわるなかで子どもたちが快適な環境で保育を受けられるように、子どもたちに関する情報の職員間での共有は密に行われていますが、『伝達及び共有の方法』がまちまちな点が気になります。現在のところ、引き継ぎや申し送りのミスは発生していませんが、リスクマネジメントの観点からメモ等でも十分なので、明文化と手続きの標準化に努めてください。</p> <p>今年度は障がい児の受入れ実績がないため計画作成をしていませんが、障がい児の受入れにいつでも対応できるよう障がい児保育の専門家による発達相談を受けられる体制作りや受入れの研修を実施しています。</p> <p>給食は献立の作成から調理まで別会社が受託していますが、保育園で毎日実施している残食確認や検食の結果から献立の内容に改善が必要となった場合には園の要望に応じて献立を変更できるシステムになっています。</p> <p>子どもたちの健康管理については総合コメントにも記載しましたが、マニュアルの内容を共通理解することを意識してください。</p> <p>健康診断・歯科健診は適切に実施され、保護者にも報告されていますが、その結果が保健計画等に反映されていません。</p> <p>【特別保育実施状況 平成23年実績 延長保育 5～10人 一時保育（24年3月より開始）1人】</p> <p>☆ 2012年1月実施の保護者アンケート結果 食に関するアンケート結果3項目より</p> <p><u>極めて高い評価結果2点</u></p> <p>項目⑪ 献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容がわかるようになっていませんか？ 回答結果（母数78） → はい 78（100%）</p> <p>項目⑫ 給食のメニューは、充実していますか？ 回答結果（母数78） → はい 75（96%） その他 3（4%）</p> <p><u>反面、工夫が必要と思われる点</u></p> <p>項目⑬ お子さんの給食の食べ具合は、必要に応じて連絡されていますか？ 回答結果（母数78） → はい 69（88%） いいえ 7（9%） その他1（1%） 無回答1</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
A-3 保護者に対する支援		
A-3-(1) 家庭との緊密な連携		
A-3-(1)-①	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A-3-(1)-②	家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a
A-3-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a
A-3-(1)-④	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	b
評価機関コメント		
<p>入園前と日常の情報交換はもちろん、保護者が参加する運営委員会を定期（月1回）開催して情報交換に努めています。毎回20名ほどの参加があり、保護者の質問や不安に応えるようになっています。また個人面談の席で保護者から質問や要望があった場合は園全体で共有し対応に臨んでいます。小規模園なのでどの職員でも子どもたちの様子がわかるので、登降園時にどの保護者とも子どもの様子や情報交換ができることが強みです。</p> <p>虐待に関しては虐待マニュアルの作成、家庭の情報収集、虐待防止への取り組みなどが実践されていますが、マニュアルに基づいた職員研修が現時点では実施されていません。園の職員が全員同じレベルの支援を提供できるよう、次年度からは、研修の計画 及び 実施に取り組んでください。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
A-4 子どもの発達・生活援助		
4-(1) 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる	a
評価機関コメント		
<p>体罰の禁止は「業務マニュアル」に明記されています。入社時の早い時期に研修を実施したり、キャリア豊富なスーパーバイザー（籍を本部に置きながら、複数の保育園を巡回し、現場の園長と共に現場で模索しながら取り組む方）が、巡回指導を実施しています。</p>		

## 利用者(保護者)への聞き取り等の結果

### 調査の概要

調査対象者	アスク久宝寺駅前保育園をご利用中の保護者
調査対象者数	総家庭数 78家族 (子ども総数 91人)
調査方法	アンケート方式

### 利用者への聞き取り等の結果(概要)

2012年1月実施： 園児91人 総家庭数78家族 回収78件 回収率 100%

一部抜粋 詳細別紙 【略記号 Y：はい N：いいえ D：その他 H：無回答】

①入園前に、あなたの都合や要望に合わせた見学を受け入れてくれましたか？

⇒ ⇒ Y 28 N 5 D 20 H 25

②保育園に入園した際に、保育の内容や方法について、説明がありましたか？

⇒ ⇒ Y 78

③保育園の理念や方針について、園から説明がありましたか？

⇒ ⇒ Y 75 N 1 D 1 H 1

④入園時の説明や、園の子どもたちの様子を見て、子どもの預けることの不安が軽減しましたか？

⇒ ⇒ Y 62 N 3 D 8 H 5

⑤入園後も、保育園やクラスの様子などについて、「園だより」、「クラスだより」等を通して、判りやすく伝えられていますか？

⇒ ⇒ Y 71 N 3 D 3 H 1

⑥園の保育について、あなたの意見や意向を伝える事ができますか？

⇒ ⇒ Y 68 N 3 D 4 H 3

⑦保護者からの苦情や意見に対して、園から「懇談会」や「園だより」などを通じて説明がありましたか？

⇒ ⇒ Y 40 N 15 D 9 H 14

⑧お子さんや家庭のことについて相談した内容が、他人に漏れていたというような経験はありますか？

⇒ ⇒ Y 7 N 67 D 1 H 3